

加美町生活支援体制整備事業
お宝探しの情報紙

かみまち地域支え合い

第12号

2025.2

高齢者世帯等の除雪・雪かきを近隣住民の助け合いで行う「除雪みまもりネット事業」に参加する行政区が増えてきています。

今年度は、40行政区175世帯から申請があり、各地区で助け合い・支え合いの輪が広がっています。

り活動、お茶っこ飲み会やサロンなど地域の中のみなさんの活動を『地域のお宝』として紹介いたします。

寄稿 おらほの老人クラブ 『賀美石長寿会』

以前、賀美石地区には単位クラブが3つ（松の会、竹の会、梅の会）ありました。

新型コロナ感染症によって活動を制限されていたころ、会員数の減少や役員のなり手不足など問題解決のために会議を重ね3つのクラブを統合し賀美石長寿会がスタートいたしました。令和6年度の会員数は63名（男性27名、女性36名）、事務局を賀美石地区公民館に置き活動しています。

《地域貢献事業》

賀美石小学校の花壇整備から始まり、春にはチューリップ、夏にはマリーゴールドを咲かせております。子どもたちや道行く人たちが花の美しさに癒されているのかなと思うとホッといたします。また、児童と保護者による奉仕作業時も草取り等の環境整備を手伝っております。



《交流事業》

老人クラブ連合会主催によるペタンク大会やグラウンドゴルフ大会への参加で、町内の会員さんとの交流を積極的に行っております。今年度は2名の会員が県のグラウンドゴルフ大会まで進んでおります。また、各地区のつどいでは踊りや歌を披露したり、客席から声援を送ったりと楽しんでおります。公民館との共催事業は「大人の社会科見学」と称して、会員同士の融和と親睦を目的に研修会を行っております。6年度は令和7年の干支にちなんで岩沼市“金蛇水神社”で金運と幸福を祈ってきました。

今後は小学生との異世代交流会も予定しており、活動をとおして地域共生社会の実現に向けて、高齢者の孤独・孤立のない、共に楽しみ、支え合い、喜びを分かち合う仲間と居場所づくりを心掛けて活動していきたいと思っております。

（文：賀美石長寿会 会長 今野 守さん）



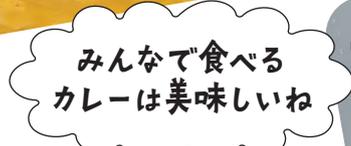
地域のお宝、見つけたよ！

《地域のお宝について》 支えあいや見守り

子育て応援『すまいる』クリスマス会

12月8日、宮崎福祉センターを会場に、子育て応援『すまいる』主催のクリスマス会が開かれました。子育て応援『すまいる』さんは、子育て世代の仲間づくりや情報提供、地域の方とのつながりを広げ子育てがしやすい場所を作っていけるように保育士さんたちが中心メンバーとなり、子育て広場や親子で一緒に参加できるイベントなどを企画し、子育てのサポート活動をされています。

この日は子どもたちとお父さん、お母さん、おばあさん、サンタさん、石山町長さんのほかスタッフ・ボランティアさんもあわせて100人近いみなさんが集まりました。





ふれあい・いきいきサロン

「ハンドメイドすてきだ和」

「本当は、ヘビは嫌いなのよ～」

「私は好きだけどね。実は私の干支なんだよね～」

「白蛇で金運がアップするなら、好きになってもいいかな!？」



「ボンドがダメならグルーガンよ!」

視点を手元に集中させたままヘビトークを繰り広げているのは、今年度から新たにふれあい・いきいきサロンの登録をされた「ハンドメイドすてきだ和」の皆さんです。今回は、干支リースづくりということで、巳年（みどし）にちなんで、参加者全員で「白蛇のリース」作りにチャレンジされていました。

「昔から白蛇を見ると金運がアップすると言うでしょう。皆さんにご利益があるようにね」と語るのは、代表世話人の阿部多栄子（あべたえこ）さん。テーマや材料は、毎回、阿部さんが考えて、全員分のセットを用意されているとのこと。「ハンドメイドで色々ゼロから手作りするのが昔から好きだったんですよ」と語る阿部さんの活動歴はなんと20年以上。文化祭等に出展した阿部さんの作品を見て、「私も自分で作ってみたい」という人が増えてきてサロンを結成することとなり、現在、会員数は20名以上いるようです。手作りに興味のある方であれば、今からでも誰でも大歓迎とのこと。



代表世話人の阿部多栄子さん
「若い方も歓迎しますよ!」

月1回のハンドメイドで、あなたもモノづくりの楽しさを味わってみませんか？

令和7年度ふれあい・いきいきサロン助成登録募集!

気の合う仲間と一緒にサロンを作ってみませんか? たまり場づくりに是非ご活用ください!

- 【種 別】** ・高齢者：参加人数の半数が65歳以上であること
 ・障害者：参加者に障害者（身体・知的・精神）が必ず1名以上いること
 ・子育て：未就学児を保育されている父または母で構成されていること
- 【世 話 人】** 1サロンにつき2名以上とし、うち1名を代表世話人（代表者）とすること
- 【人 数】** 1サロンの最低参加人数は5名（5世帯）以上
- 【実施回数】** おおむね月1回以上の開催とし、年10回以上
- 【活動場所】** 参加者等の自宅や行政区の集会所、公民館等
- 【活動内容】** お茶飲み、食事作り、レクリエーション、外出活動、季節行事、世代交流等
- 【助成金額】** 年間活動回数に対し助成金を交付します。（最長5年間）
 ・10～15回まで：15,000円 ・16回以上：20,000円（1～3年目まで）
 ※なお、4年目は10,000円、5年目は5,000円が上限となります。

詳しくは加美町社協ホームページをご覧ください。各地区社協事務局へお問い合わせください。



発行日：2025年2月1日 発行：社会福祉法人加美町社会福祉協議会
〒981-4261 宮城県加美郡加美町字町裏320番地（中新田福祉センター内）
TEL:0229(63)2547 FAX:0229(63)2898 URL:<http://www.shakyo.or.jp/hp/288/>

※この広報紙は加美町生活支援コーディネーター業務委託に基づき発行しています。

